

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	
	全体計画		平成28年度	～	平成32年度		経費区分		経常的経費		内線	土屋 3312
事務事業名	4074 福祉会館管理事業											
所 属	100100 健康福祉部・福祉課											
施 策	01020500 障がい者福祉の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030105 民生費・社会福祉費・福祉会館費										
	事業	010000 福祉会館管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
障がい者福祉の増進と自立の促進を図るために設置定した施設の維持管理と適切な管理運営を行うことにより、障がい者福祉の向上を図る。						・障がい者の福祉の増進と自立の促進を図るため、施設を指定管理者として（公社）須高広域シルバー人材センターへ管理委託する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・年間登録団体数 33団体 ・年間利用団体数、利用者数 1,363団体、21,970人 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間登録団体数 31団体 ・年間利用団体数、利用者数 1,378団体、23,078人
平成29年度 実績	平成30年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・年間登録団体数 31団体 ・年間利用団体数、利用者数 1,359団体、21,483人 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間登録団体数 35団体 ・年間利用団体数、利用者数 1,400団体、23,000人
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	福祉会館の年間利用者数						
算式						単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	23,100		23,300		23,400	
	実績	23,078	21,483				
指標選定の理由	福祉関係者による会館の有効利用を図る						
最終年度目標の根拠	年々減少傾向にあることから、平成28年度値の以上の利用として、年間100人増を目指す						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		3,829	3,648
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	196	194
一般財源		3,633	3,454
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,829.0	3,648.0

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	37	修繕料（エレベータ部品交換）
13節 委託費	3,527	福祉会館指定管理委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	265	FF式暖房器取替 2台

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	3,581	福社会館指定管理者委託料ほか
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	67	AED賃借料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	障がい者、福祉団体の活動拠点として必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	施設は活動拠点として有効に異様されている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	引き続き指定管理を進めて行く。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
施設の一層の有効活用を進め、利用者の増加を図る。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
障がい者の福祉増進と自立促進を図るための施設として、より多くの方が利用しやすい施設・運営となるよう指定管理者と連携すると共に、31年度の屋根等大規模改修に向けて財源確保を含めた計画の熟度を高める。 。		利用者が安心して利用できるよう、必要な修繕を実施し、指定管理者と連携し利用者増を図る。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	